

## 木材統計調査 合板統計（令和3年10月分）

普通合板生産量は、前年同月に比べ6.5%増加  
特殊合板生産量は、前年同月に比べ11.9%減少

### 【調査結果の概要】

- 1 普通合板生産量は28万1,324m<sup>3</sup>となり、前年同月に比べ6.5%増加した。
- 2 普通合板出荷量は28万3,077m<sup>3</sup>となり、前年同月に比べ0.1%増加した。
- 3 普通合板在庫量は13万4,793m<sup>3</sup>となり、前年同月に比べ27.5%減少した。
- 4 特殊合板生産量は3万9,600m<sup>3</sup>となり、前年同月に比べ11.9%減少した。
- 5 特殊合板出荷量は4万608m<sup>3</sup>となり、前年同月に比べ5.7%減少した。
- 6 特殊合板在庫量は3万8,325m<sup>3</sup>となり、前年同月に比べ8.0%増加した。

図1 普通合板の生産量・出荷量・在庫量の推移

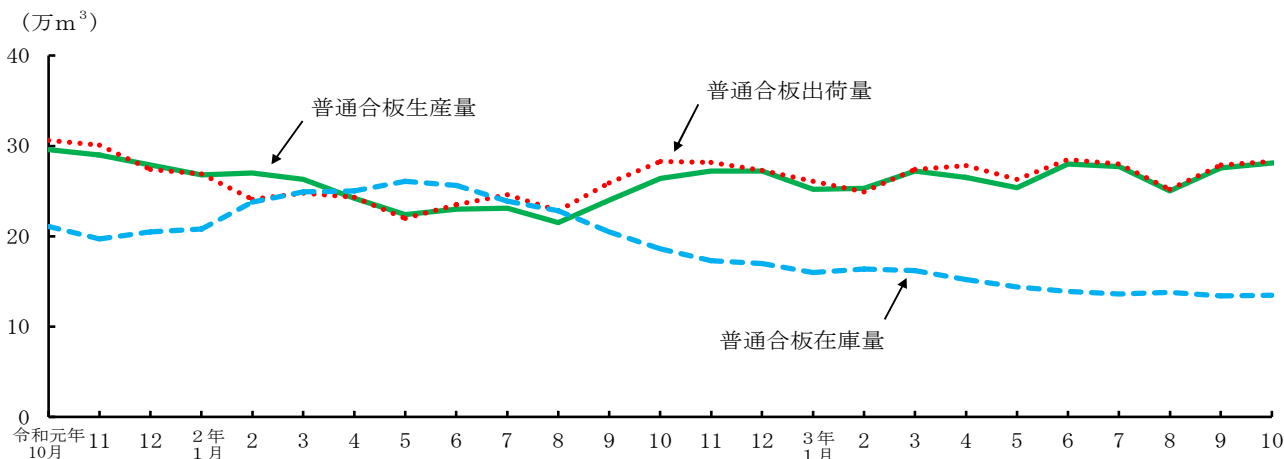
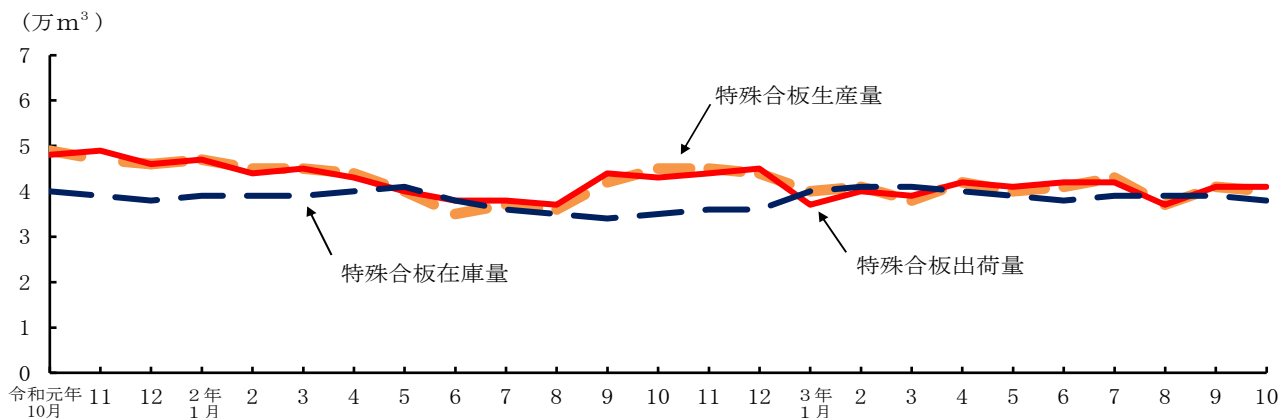


図2 特殊合板の生産量・出荷量・在庫量の推移



本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。  
【 <https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/mokuzai/index.html#m2> 】

【統計表】

1 単板製造用素材の入荷量、消費量及び在庫量

2 普通合板の生産量、出荷量及び在庫量

月別	単位：m <sup>3</sup>					単位：m <sup>3</sup>			
	入荷量	国産材	消費量	在庫量	生産量	出荷量	在庫量		
							計	普通合板用	特殊合板用
令和2年10月	385,749	356,113	427,713	487,151	264,053	282,910	185,795	119,132	66,663
11	408,910	384,686	436,311	459,750	272,189	281,771	172,899	110,813	62,086
12	391,466	366,710	424,373	426,843	272,174	273,089	170,172	110,948	59,224
令和3年1月	372,268	334,765	411,677	387,434	252,491	260,552	159,944	104,219	55,725
2	401,496	377,028	411,533	377,397	253,327	249,475	163,510	109,121	54,389
3	466,743	421,842	444,431	399,709	272,386	274,343	162,437	108,084	54,353
4	447,875	415,134	427,236	420,348	265,382	277,737	151,647	96,899	54,748
5	433,716	382,450	404,496	449,568	253,937	263,264	143,537	88,661	54,876
6	429,643	411,790	458,043	421,168	279,764	284,779	139,488	84,721	54,767
7	433,400	382,475	449,446	405,122	277,068	280,333	136,354	82,683	53,671
8	371,317	345,128	395,070	381,369	250,359	251,960	138,153	82,088	56,065
9	459,019	398,214	450,577	389,811	276,030	279,068	133,824	79,788	54,036
10	456,351	422,110	453,442	392,720	281,324	283,077	134,793	79,177	55,616
対前月比 (%)	99.4	106.0	100.6	100.7	101.9	101.4	100.7	99.2	102.9
対前年同月比 (%)	118.3	118.5	106.0	80.6	106.5	100.1	72.5	66.5	83.4

- 注：1 「1 単板製造用素材の入荷量、消費量及び在庫量」における今月の在庫量と前月の在庫量の関係は、次式のとおりである。  

$$\text{今月の在庫量} = \text{前月の在庫量} + \text{今月の入荷量} - \text{今月の消費量}$$
- 2 「2 普通合板の生産量、出荷量及び在庫量」における今月の在庫量と前月の在庫量の関係は、次式のとおりである。  

$$\text{表2の今月の在庫量} = \text{表2の前月の在庫量} + \text{表2の今月の生産量} + \text{表7の今月の入荷量} - \text{表2の今月の出荷量} - \text{表7の今月の消費量}$$
- 3 年度途中で調査対象工場の新設・休廃業があった場合、前月在庫量と今月在庫量の関係が一致しないことがある（以下表8においても同じ。）。
- 4 調査対象工場に変動があった場合、在庫量は注1及び2の計算式により算出された在庫量とは一致しないことがある。

3 普通合板の厚さ別生産量

月別	単位：m <sup>3</sup>				
	計	6mm未満	6～12	12～24	24mm以上
令和2年10月	264,053	4,110	41,673	118,707	99,563
11	272,189	4,348	40,754	122,141	104,946
12	272,174	3,983	40,394	125,356	102,441
令和3年1月	252,491	3,484	38,626	112,598	97,783
2	253,327	2,045	41,460	109,783	100,039
3	272,386	2,421	45,408	121,611	102,946
4	265,382	2,411	43,432	121,427	98,112
5	253,937	2,247	39,139	117,340	95,211
6	279,764	2,294	45,424	126,569	105,477
7	277,068	2,620	45,356	126,017	103,075
8	250,359	2,180	42,128	110,378	95,673
9	276,030	2,754	43,496	123,642	106,138
10	281,324	2,470	46,021	125,026	107,807
対前月比 (%)	101.9	89.7	105.8	101.1	101.6
対前年同月比 (%)	106.5	60.1	110.4	105.3	108.3

4 普通合板のうち針葉樹合板の厚さ別生産量、出荷量及び在庫量

単位：m<sup>3</sup>

月別	生産量					出荷量	在庫量
	計	6mm未満	6～12	12～24	24mm以上		
令和2年 10月	255,360	1,538	40,121	114,309	99,392	269,150	117,127
11	263,379	1,350	39,293	117,894	104,842	268,301	112,007
12	263,480	1,392	39,000	120,812	102,276	262,992	112,856
令和3年 1月	244,557	1,242	37,307	108,309	97,699	249,039	107,598
2	246,457	665	40,242	105,548	100,002	239,912	114,089
3	264,192	1,059	43,728	116,514	102,891	264,121	113,879
4	257,507	1,094	41,891	116,461	98,061	268,342	103,765
5	246,499	1,195	38,041	112,101	95,162	254,427	96,368
6	272,317	1,241	44,255	121,383	105,438	276,226	92,177
7	270,321	1,522	44,245	121,509	103,045	272,363	90,617
8	243,404	973	41,092	105,725	95,614	244,619	92,498
9	269,186	1,465	42,548	119,074	106,099	271,140	89,913
10	274,106	1,206	44,940	120,205	107,755	275,045	88,851
対前月比 (%)	101.8	82.3	105.6	100.9	101.6	101.4	98.8
対前年同月比 (%)	107.3	78.4	112.0	105.2	108.4	102.2	75.9

注：1 針葉樹合板は、全針葉樹合板であり複合針葉樹合板（針葉樹と広葉樹による合板）は含まない。  
 2 針葉樹合板の在庫量は、表7の入荷量及び消費量のうち針葉樹合板であるものの数値を含めて算出したものである。

5 普通合板のうち針葉樹合板（構造用合板）の厚さ別生産量、出荷量及び在庫量

単位：m<sup>3</sup>

月別	生産量					出荷量	在庫量
	計	6mm未満	6～12	12～24	24mm以上		
令和2年 10月	235,131	1,537	27,675	107,449	98,470	247,855	95,945
11	243,229	1,350	26,853	110,558	104,468	247,428	91,765
12	243,327	1,392	26,925	113,399	101,611	241,335	93,790
令和3年 1月	225,323	1,242	25,499	102,058	96,524	229,238	89,898
2	226,592	664	25,991	100,379	99,558	220,015	96,496
3	242,543	1,058	28,653	110,859	101,973	247,904	91,135
4	234,619	1,094	27,790	108,864	96,871	239,848	85,943
5	224,204	1,195	24,912	104,127	93,970	231,903	78,268
6	249,868	1,240	29,650	115,072	103,906	253,601	74,586
7	246,064	1,521	28,718	113,951	101,874	246,951	73,737
8	220,874	972	26,019	99,757	94,126	221,546	73,125
9	246,303	1,465	26,926	112,501	105,411	249,157	70,290
10	249,044	1,206	27,454	113,694	106,690	249,344	70,047
対前月比 (%)	101.1	82.3	102.0	101.1	101.2	100.1	99.7
対前年同月比 (%)	105.9	78.5	99.2	105.8	108.3	100.6	73.0

注：針葉樹合板（構造用合板）の在庫量は、表7の入荷量及び消費量のうち針葉樹合板（構造用合板）であるものの数値を含めて算出したものである。

6 普通合板の用途別生産量  
(普通合板生産量の内数)

7 普通合板の入荷量  
及び消費量(特殊  
合板用)

8 特殊合板の生産量、出荷量  
及び在庫量

月別	単位：m <sup>3</sup>		単位：m <sup>3</sup>			単位：m <sup>3</sup>		
	コンクリート 型わく用合板	針葉樹	構造用合板	入荷量	消費量 (特殊合板用)	生産量	出荷量	在庫量
令和2年10月	3,844	3,814	236,115	42,198	42,353	44,924	43,072	35,483
11	3,824	3,792	244,506	40,787	44,101	45,015	44,147	36,351
12	3,324	3,304	244,944	41,436	43,248	44,296	44,917	35,730
令和3年1月	2,833	2,772	226,666	38,801	38,994	39,821	36,910	39,740
2	4,127	4,023	228,003	40,418	40,704	41,253	40,134	40,859
3	2,926	2,838	243,984	38,947	38,063	38,460	38,795	40,524
4	3,250	3,200	236,111	42,578	41,013	41,657	42,265	39,916
5	3,517	3,485	225,884	40,355	39,138	39,939	41,216	38,639
6	3,965	3,925	251,542	39,895	38,929	41,166	41,683	38,122
7	3,619	3,522	247,741	42,090	41,959	43,267	42,495	38,894
8	3,173	3,139	222,418	39,049	35,649	37,116	36,798	39,212
9	3,580	3,510	247,981	38,503	39,794	41,121	41,000	39,333
10	2,827	2,811	250,689	40,622	37,900	39,600	40,608	38,325
対前月比(%)	79.0	80.1	101.1	105.5	95.2	96.3	99.0	97.4
対前年同月比(%)	73.5	73.7	106.2	96.3	89.5	88.1	94.3	108.0

注：1 「8 特殊合板の生産量、出荷量及び在庫量」における今月の在庫量と前月の在庫量の関係は、次式のとおりである。

今月の在庫量＝前月の在庫量＋今月の生産量－今月の出荷量

2 調査対象工場に変動があった場合、在庫量は注1の計算式により算出された在庫量とは一致しないことがある。

◎ 調査結果の主な利活用

- ・ 国産材の安定供給体制の構築に向けて、林野庁が開催している「国産材の安定供給体制の構築に向けた需給情報連絡協議会」において、木材需給動向の資料として素材の入荷、消費及び在庫量、製品の生産、出荷及び在庫量を利用。
- ・ 国民経済計算における四半期別GDP速報（QE）の供給側推計の「林業」及び「木材・木製品」の推計に利用。
- ・ 経済産業省が作成している「鉱工業生産指数」の算出に利用。

◎ 関連データ

1 単板製造用素材の入荷量

2 普通合板の厚さ別生産量

年次	単位：千m <sup>3</sup>			単位：千m <sup>3</sup>				
	計	国産材	輸入材	計	6mm未満	6～12	12～24	24mm以上
令和元年	5,448	4,745	703	3,337	60	500	1,524	1,253
令和2年	4,626	4,195	431	2,999	49	462	1,341	1,147
対前年比 (%)	84.9	88.4	61.3	89.9	81.7	92.4	88.0	91.5

資料：令和2年木材統計、令和元年木材需給報告書（以下4まで同じ。）  
 注：統計数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下3まで同じ。）。

3 針葉樹合板の厚さ別生産量  
 （普通合板の内数）

年次	単位：千m <sup>3</sup>				
	計	6mm未満	6～12	12～24	24mm以上
令和元年	3,212	18	476	1,468	1,250
令和2年	2,896	17	444	1,293	1,142
対前年比 (%)	90.2	94.4	93.3	88.1	91.4

4 特殊合板の生産量

年次	単位：千m <sup>3</sup>
	生産量
令和元年	562
令和2年	488
対前年比 (%)	86.8

木材統計調査では、素材生産及び木材製品の生産及び出荷等に関する実態を明らかにするため、合単板月別調査（月次調査）とは別に木材統計調査基礎調査（年次調査）を実施している。

年次調査では、合単板工場を工場類型により次のとおり区分した。

（ア）単板専門工場（単板のみを生産している工場）

（イ）普通合板工場（普通合板を生産している工場。なお、普通合板のほか単板又は特殊合板を生産している工場を含む。）

（ウ）特殊合板専門工場（特殊合板のみを生産している工場）

都道府県別及び工場類型ごとに、既存工場については、単板専門工場は調査年前年の単板製造用素材入荷量、普通合板工場は調査年前年の普通合板生産量、特殊合板専門工場は調査年前年の特殊合板生産量により、それぞれ次に示す規模階層に区分した。なお、既存工場数が3以下の都道府県においては、規模階層区分は行わず既存工場全てを第1階層として取り扱うこととした。

#### 第1階層

既存工場を単板専門工場は単板製造用素材入荷量、普通合板工場は普通合板生産量、特殊合板専門工場は特殊合板生産量の最も多い工場から順に配列し、それぞれそれらの量がその都道府県のそれぞれの量の70%を上回るまでの工場とし、この階層は全数調査を行った。

#### 第2階層

既存工場を単板専門工場は単板製造用素材入荷量、普通合板工場は普通合板生産量、特殊合板専門工場は特殊合板生産量の最も多い工場から順に配列し、それぞれそれらの量がその都道府県のそれぞれの量の90%を上回るまでの工場から第1階層に属する工場を除いた工場とし、この階層は標本調査を行った。

#### 第3階層

既存工場のうち、第1階層及び第2階層に属する工場以外の工場とし、この階層は標本調査を行った。

#### 新規調査階層

既存工場以外の調査対象工場（調査年に新規に操業を開始又は操業を再開した工場）とし、この階層は全数調査を行った。

なお、年次調査は、合単板工場から抽出した128工場に対し調査を実施したものであり、標本設計の違いにより合単板月別調査結果の年間合計値と年次調査結果は一致しない。

## 【調査の概要】

### 1 調査の目的

本調査は、木材統計調査の合単板月別調査として実施したものであり、合単板工場における素材の入荷量、消費量及び在庫量並びに合板の入荷量、生産量、出荷量及び在庫量を月別に把握し、我が国の木材需給の動向及び木材産業の実態を明らかにするとともに、木材の需給安定対策等の資料を提供することを目的としている。

### 2 調査対象

#### (1) 調査の対象

本調査は、全国の合単板工場を調査の対象とした。

標本の抽出は、都道府県別に単板専門工場にあっては調査年前年の単板製造用素材入荷量、普通合板工場にあっては、調査年前年の普通合板生産量、特殊合板専門工場にあっては調査年前年の特殊合板生産量の多い方から順に並べ、既存工場階層としてそれぞれ入荷量又は生産量の85%を上回るまでの工場を調査対象とした。

また、新規に操業を開始し、又は操業を再開した工場は新規調査階層とし、工場の操業が開始された時点で当該月分の調査を行い、この階層については全ての工場を調査対象とした。

#### (2) 調査対象数

令和3年10月の調査対象工場数は、70（有効回答数70、有効回答率100.0%）である。

### 3 調査事項

素材の入荷量、消費量及び在庫量並びに合板の入荷量、生産量、出荷量、消費量及び在庫量

### 4 調査対象期間

令和3年10月の1か月間である。

### 5 調査方法

本調査は、調査対象工場の代表者に対して調査票をオンライン、郵送又はFAXにより配布及び回収する自計調査の方法により行った。

### 6 集計方法

#### (1) 都道府県値の推定は、次の推定式のとおり行った。

なお、推定式中の「 $y_i$ 」及び「 $Y$ 」については、単板製造用素材に関する項目の推定においては「単板製造用素材の入荷量」、普通合板に関する項目の推定においては「普通合板生産量」、特殊合板に関する推定においては「特殊合板生産量」を用いた。

(推定式)

$$X = \frac{\sum_{i=1}^n x_i}{\sum_{i=1}^n y_i} Y + P$$

$X$  :  $x$  の合計の推定値

$n$  : 標本工場数

$x_i$  :  $i$  番目標本工場の当該項目の値

$y_i$  :  $i$  番目標本工場の前年の単板製造用素材の入荷量（普通合板生産量又は特殊合板生産量）

$Y$  : 既存工場階層の前年の単板製造用素材の入荷量（普通合板生産量又は特殊合板生産量）の合計

$P$  : 新規調査階層の当該項目の合計値（調査値）

#### (2) 全国値の推定は、都道府県の推定値を合計した。

### 7 実績精度

本調査は、一定規模以上の工場を対象とする調査であるため、実績精度の算定は行っていない。

### 8 用語の解説

- (1) 単板とは、合板及びLVLに用いるために、素材から、ロータリーレース、スライサー又はベニヤソーを使用して生産された木材の薄板をいう。
- (2) 単板製造用素材とは、単板生産に供される丸太及びそま角をいう。ただし、輸入材にあっては、半製品（大中角、盤及びその他の半製品）を含む。
- (3) 合板とは、単板を3枚以上を主としてその繊維方向を互いにほぼ直角にして、接着したものをいう。

- (4) 普通合板とは、表面に加工を施さない合板をいう。
- (5) 針葉樹合板とは、針葉樹材で生産された普通合板をいい、本調査では「全針葉樹合板」のみを調査対象とした。
- (6) コンクリート型わく用合板とは、普通合板生産量のうち、コンクリート型わく用に使用される合板をいう。
- (7) 構造用合板とは、ツーバイフォー住宅などの建築物の耐力構造上必要な部位に使用される合板をいう。
- (8) 特殊合板とは、普通合板の表面に美観、強化を目的とする薄板の張り付け、オーバーレイ、プリント、塗装等の加工を施した合板をいう。
- (9) LVLとは、単板を主としてその繊維方向を互いにほぼ平行にして積層接着したもの及び繊維方向が直交する単板を用いた場合にあつては、直交する単板の厚さの合計が製品の厚さの30%未満であり、かつ、当該単板の枚数の構成比が30%以下であるものをいう。「単板積層材」とも呼ばれる。

## 9 利用上の注意

- (1) 本調査は、標本調査であることから工場の新設・廃業等が毎月の推定値に即座に反映されない場合がある。  
また、年度途中で調査対象工場の新設・廃業等があつた場合、今月在庫量と前月在庫量の関係が一致しないことがある。
- (2) この統計表に掲載された数値を他に転載する場合は、「合板統計」（農林水産省）による旨を記載してください。

## 10 その他

この資料の数値については、令和3年の年間の月別統計表に編集しホームページに掲載する（令和4年2月予定）とともに、その後刊行する『令和3年木材需給報告書』に掲載する。  
なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

### 【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。  
【 <https://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】  
この結果は、分野別分類「森林、林業」の「木材統計調査」で御覧いただけます。  
【 <https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/mokuzai/index.html#m2> 】

### 【関連リンク】

林野庁ホームページ

<https://www.rinya.maff.go.jp/>

お問合せ先

◎本統計調査結果について  
農林水産省 大臣官房統計部  
生産流通消費統計課 畜産・木材統計班  
電話：（代表）03-3502-8111 内線3686  
（直通）03-3502-5665  
FAX： 03-5511-8771

◎農林水産統計全般について  
農林水産省 大臣官房統計部  
統計企画管理官 統計広報推進班  
電話：（代表）03-3502-8111 内線3589  
（直通）03-6744-2037  
FAX： 03-3501-9644



政府統計

政府統計の総合窓口

(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>

次回（令和3年11月分）の公表は令和3年12月24日午後3時の予定です。